立川市史編さん員会	
平成 29 年 1 月 23 日	
資料番号	2

立川市史資料編体裁（案）

<基本となる体裁>

判型 B5 判・タテ書き

組方 本文 10 ポイント 29 字×23 行×2 段

製本 並製本

※年代・出典等表記方法、項目の立て方・表記等については、今後の編集委員会議で検討する。

<参考>B5 判で刊行している他の事例

①「館林市史資料編 3・近世 1」・平成 25 年度刊行・上製本
本文 9 ポイント 30 字×26 行×2 段

②「可見市史資料編・近現代」・平成 20 年度刊行・上製本
本文 10 ポイント 27 字×23 行×2 段

③「勝浦市史資料編・近世」平成 16 年度刊行・上製本
本文 9 ポイント 30 字×25 行×2 段

④「鹿沼市史資料編・近現代」・平成 12 年度刊行・上製本
本文 9 ポイント 30 字×25 行×2 段

⑤「鈴木平九郎公私日記改訂版・第一巻」・平成 22 年度刊行・並製本
本文 10 ポイント 30 字×20 行×2 段